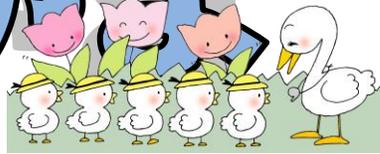


ななかま



プリンス頓日本語学校
平成29年度 No.5
平成29年 4月30日
文責 荒川雄之 arakawa@pcjls.org

教室では...

◆先週も、各教室で張り切る子どもたちの姿がたくさん見られました。担任の質問に、ご覧の通りの挙手。(右上①)日本の子どもたちより3割増しのひじのびた挙手でした。今後も活気に満ちた教室になりそうですね。



◆右②は算数の授業風景です。「釣り合いのとれた形=対称」の勉強です。スクリーンにも注目。担任が用意した動く図形を使って、線対称・点対称を興味深そうに学んでいました。もちろん図が動くのも面白そうで、やってみたくてうずうずしている子どもも少なくなかったようでした。



◆右③は？これは挙手ではありません。自分が担当した漢字を発表し、その児童の指示で、みんなで空書をしているところです。体全体を使って、大きく立派な文字が、教室の中を漂っています。



◆右④は、新学期早々担任からの御目玉？いえいえ、さすがは中学生、しっかりと落ち着いた空気の中、担任がマンツーマンで作文指導中。海外子女文芸作品コンクールも募集中ですので、参加できるといいですね。



◆右⑤はPコースの漢字の時間。「読み方」「画数」「部首」...等、子どもたちに分かり易いように、色分けをして掲示しています。小黒板を使って、子どもたちの活動も楽しそうです。



◆右⑥は小学部2年生の算数。リンゴが2つ、という、まず子どもたちはリンゴの絵を二つ書くところから始まります。ところがリンゴが40個という、もう



絵は描けませんので、○や点で表していくこととなります。具体から抽象への進歩です。しかし、具体的な事柄をしっかりとイメージしながら抽象概念を育てていくことは大切なこと。特に、文章問題では、その力が発揮され

ます。日本語学校の算数・数学では、そうした力がより育っていているようです。お子さんのものの捉え方や表し方の変化は、成長の証。楽しみですね。

来週からは授業参観です。往々にしてお父さん・お母さんが後ろで見ていることで、子どもたちは少々委縮してしまうこともあります。普段のままの姿を、ほんの少しですが、お届けいたしました。

来週も、ほんの少しお届けする予定です。

【保護者の皆様へのお知らせ・お願い】

避難訓練: 避難訓練の際には、保護者の皆さんにも屋外に避難していただきます。400人以上が避難行動をとりますので、小さなお子さんをお連れの場合等は、十分に注意して行動してください。今回の訓練は、避難経路の確認と、集団での避難行動を主な目的としているため約束事として行動しますが、実際に緊急の避難行動が求められた際には、必ずしも整然とした避難が正解とは限りません。その際には避難する子どもたちへの目配り・ご支援を、よろしくお願い致します。



授業参観予定(下表参照)教室配置図を配信します。

	1時間目参観 2時間目懇談会	3時間目参観 4時間目懇談会
5月7日	小学部1年 小学部2年	中学部 小学部6年
5月14日	小学部3年 小学部4年 プリ小1 プリ小低学年① プリ中	小学部5年 プリ小低学年② +高学年①②

お知らせ

◆5月12日(金)午後2時30分
から、プリンス頓大学恒例の日本語
スピーチコンテストが同大学で実施されます。
本校からは、次のJASL児童・生徒3名が参加します。
(敬称略)

ノヴォセーロフ ダニエル Daniel Novoselov G4
ワッツ 明(はる) Haru Watts G7
ハートウィック ノア Noah Hartwick G10

本日の予定

- ・冷泉彰彦氏講演会 12:45(304)
- ・避難訓練(屋外避難)
- ・係担当部長連絡会 15:00(301)

